

## 2020年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程

### 国際乾燥地科学専攻

#### 持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラム学生募集要項

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程国際乾燥地科学専攻（持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラム）においては、乾燥地農学に関する研究を行う国費外国人留学生を下記により募集する。

#### I 設置目的

持続可能な開発目標に貢献する乾燥地農学特別プログラムは、乾燥地の農業・環境保全から地域開発までの総合的な教育研究体制のもとで、持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた自国の発展に寄与する人材の養成を図る。

#### II 教育方法

本プログラムの学生は、国際乾燥地科学専攻特別コースの2年間の博士前期課程において30単位以上修得し、学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すれば、修士（農学）または修士（学術）の学位を授与する。

本プログラムにおいては、開設する授業科目及び研究指導をすべて英語で行う。

#### III 教育研究分野及び募集人員

##### 1. 教育研究分野

教育研究分野の決定に当たっては、別添の教育研究分野一覧から選択すること。

##### 2. 募集人員

大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生[特別枠]） 3名

#### IV 出願資格及び条件

##### 1. 対象

大学院レベルの国費外国人留学生として新たに海外から留学する者。

##### 2. 国籍

本国政府と国交のある国のものを有すること。

##### 3. 年齢

1985年4月2日以降に出生した者。

##### 4. 渡日時期

2020年10月1日～同年10月7日までに必ず渡日可能な者。

##### 5. 学歴

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2020年9月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2020年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を

修了した者及び2020年9月までに修了見込みの者

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって（5）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年9月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2020年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号による）
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者及び2020年9月30日までに22歳に達する者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい 学力があると認めた者

なお、上記（9）又は（10）により出願する場合は、あらかじめ資格審査を行うため、担当予定教員を通して鳥取大学農学部教務係で所定の申請書を受け取り、2020年1月27日（月）までに提出すること。審査結果は、2020年1月31日（金）までに通知する。

## 6. 健康

心身ともに大学における学業に支障がないこと。

## 7. 語学力

研究指導等は主として英語で行うことから、英語能力が十分であること。

## 8. 注意事項

- (1) 次に掲げる者については、出願対象外とする。国費外国人留学生採用以降に判明した場合には辞退すること。
  - ① 渡日時において、現役軍人または軍属の資格の者。
  - ② 受入大学の指定する期日までに渡日できない者。
  - ③ 過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生で、終了後採用時までに3年以上の教育研究の経歴がない者。ただし、帰国後、在籍大学を卒業した日本語・日本文化研修留学生、日韓共同理工系学部留学生及びヤング・リーダーズ・プログラム留学生が、研究留学生として応募する場合はこの限りではない。
  - ④ 現在、日本政府（文部科学省）奨学金制度による他のプログラム（教員研修留学生等）との重複申請をしている者。
  - ⑤ 申請時に既に在留資格「留学」で日本の大学等に在籍している者及び申請時から奨学金支給期間開始前に私費外国人留学生として日本の大学等に在籍、または在籍予定の者。ただし、申請時に日本に留学中の私費外国人留学生であっても、修了し、本制度による奨学金支給期間開始までに一度帰国することが確実な者はこの限りではない。
  - ⑥ 渡日後に日本政府（文部科学省）及び（独）日本学生支援機構、日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む）から奨学金を受給することを予定している者。
  - ⑦ 「卒業見込みの者」であって、所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者。
  - ⑧ 申請時に二重国籍者で、渡日時までに日本国籍を離脱したことを証明できない者。
  - ⑨ 申請時から日本以外でのフィールドワーク、インターンシップ等を希望している者。

- (2) 鳥取大学大学院連合農学研究科博士課程への進学意志のある者であることが望ましい。  
但し、鳥取大学大学院連合農学研究科博士課程への進学の意志がある者でも、博士前期課程を修了した段階（2年間）で成績が優秀でない場合は、進学することはできない。

## V 出願手続

### 1. 出願期間

入学志願者は、出願書類を2020年2月3日（月）から2020年2月21日（金）（必着）までに、主担当予定教員を通して鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科へ提出すること。個人での出願は受け付けない。

### 2. 出願書類

- (1) 2020年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程  
国際乾燥地科学専攻持続可能な開発目標に貢献する乾燥地  
農学特別プログラム入学願書（所定の様式）・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (2) 日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書（両面印刷）・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (3) 専攻分野及び研究計画（別紙）・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (4) 健康診断書（最近6か月以内に受診したもの）・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (5) 誓約書（所定の様式）・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (6) 最終出身大学（学部及び大学院）の成績証明書（出身大学で発行したもの）・正本1部
- (7) 最終出身大学（学部及び大学院）の卒業（見込）証明書・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (8) 本人の戸籍身分を証明する書類（例えば、パスポートや本国の戸籍謄本）・・・・・写し1部
- (9) 所属大学等の研究科長レベル以上の推薦書（鳥取大学長あてのもの）・・・・・正本1部
- (10) 個人推薦書・・・・・・・・・・・・・正本1部  
（入学志願者と個人的交流があり、さらに入学志願者の教育研究に対して保証できる指導教授又はそれに準ずる責任ある教員からの推薦書）
- (11) 写真（最近6か月以内に撮影したもので4.5×3.5cm, 上半身, 正面, 無帽, 裏面に国籍及び氏名を記入し出願書類所定の場所に添付のこと。）・・・・・・・・3枚
- (12) 最終出身大学において学業成績が優秀であることを証明する書類・・・・・・・・・・・・・正本1部  
（例えば、GPA, ABCのクラス分け, 具体的な順位（〇人中第〇位）等, 最終出身大学における成績が明確に判る指標）
- (13) 学位論文概要等・・・・・・・・・・・・・写し1部
- ① 卒業者は卒業論文の写し, ただし論文がない場合はこれに代わるもの。
- ② 卒業見込みの者は, 研究経過報告書。
- ③ 上記以外の既発表論文の別刷, 投稿中論文の写し及びこれまでの研究業績が明らかとなるもの。
- ④ 上記①)及び③)については, 論文の内容を簡潔にまとめたものを添付すること。
- (14) TOEFLiBT, TOEIC L&R/TOEIC S&W, IELTS, GTEC, ケンブリッジ英検, TEAP, TEAP CBT  
実用英語技能検定試験のいずれかの英語能力を証明する成績表・・・・・・・・・・・・・写し1部  
（上記以外の英語能力を証明する成績表を提出しようとする者は, 願書出願前に農学部教務係へ相談すること。

### 3. 出願についての注意事項

- (1) 入学志願者は、インターネット等を利用した口述試験を受けること。口述試験は、2020年2月3日（月）から2020年2月21日（金）までの期間に実施する。
- (2) 出願書類は、英語により、できる限りタイプ等を用いてすべてA4サイズに統一して作成すること。
- (3) 出願書類がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限を過ぎたものは一切受理しない。
- (4) 入学志願者は、入学願書に希望する主担当予定教員名を記入しなければならない。主担当教員と教育研究分野は、別添の教育研究分野一覧から選択すること。なお、入学願書に主担

当予定教員名の記入のない場合は、審査することができないので特に注意すること。

- (5) 入学志願者は、主担当予定教員（副担当予定教員を含む）と密接な連絡をとって、研究計画を作成しなければならない。
  - (6) 提出する学位論文概要等によって申請者の英語能力を評価する。
  - (7) 出願書類のうち、推薦書及び個人推薦書には、英語による授業を理解する英語能力の程度について「優秀」、「普通」、「普通以下」のいずれに該当するかを明記すること。
  - (8) 提出書類の返却はしない。
4. 国費外国人留学生の奨学金等について
- (1) 奨学金  
2020年度の奨学金月額が144,000円（予定額）
  - (2) 奨学金支給期間  
2020年10月から2022年9月までの2年間
  - (3) 旅費
    - ① 渡日旅費：文部科学省は、原則として旅行日程及び経路を指定して、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港（原則、国籍国内）から成田国際空港、または受入大学が通常の経路で日本に到着する際の国際空港までの下級航空券を交付する。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、日本国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）等は留学生の自己負担とする。
    - ② 帰国旅費：文部科学省は、奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生については、本人の申請に基づき、成田国際空港、または受入大学が通常の経路で使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港（原則、国籍国内）までの下級航空券を交付する。

（注1）渡日及び帰国旅行の際の保険金等は、留学生の自己負担とする。  
（注2）奨学金支給期間終了後、引き続き日本に滞在し、一時帰国する際の帰国旅費は支給しない。
  - (4) 授業料等  
入学検定料、入学料及び授業料は徴収しない。
  - (5) 留学生用保険制度  
入学後に大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険制度（学研災）及び留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（留学生用保険）に加入すること。  
補償内容と保険料は次のとおり。各保険の詳細については、各担当へ問い合わせること。
    - ① 学研災：この保険は、正課中、課外活動中又は大学構内あるいは通学途中に被った不慮の事故で死亡、負傷した場合に支払われる傷害保険である。  
保険料（2年間）：1,750円  
担当：保健管理センター（E-mail hokekan-jimu@ml.adm.tottori-u.ac.jp）
    - ② 留学生用保険（タイプB）：この保険は、(1)他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合、(2)ケガや病気で3日以上入院して、ご家族が駆けつけたときの交通費や宿泊費の支払いを補償する保険である。（学研災と異なり、補償の時間帯や場所についての限定はない）  
保険料（2年間）：3,260円  
担当：国際交流課（E-mail kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp）
  - (6) 次の場合には、原則として奨学金の支給を取り止める。また、これらに該当するにもかかわらず奨学金を受給した場合、該当する期間に係る奨学金の返納を命じることがある。
    - ① 申請書類等に虚偽の記載があることが判明したとき。
    - ② 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
    - ③ 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
    - ④ 大学において退学等の懲戒処分を受けたとき、あるいは除籍となったとき。（なお、大学において処分を決定するまでの間、奨学金の支給を止めることもある。）

- ⑤ 学業成績等不良や停学，休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- ⑥ 入管法別表第一の四に定める「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。
- ⑦ 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く。）の支給を受けたとき。
- ⑧ 採用後，定められた奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき。
- ⑨ 当該大学を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。
- ⑩ 1年毎の各時点における学業成績係数が2.30 又は大学が定める成績基準を下回ったとき。

#### 5. 選抜の方法等

##### (1) 書類審査および口述試験

- ① 本専攻は，提出された出願書類およびインターネット等を利用した口述試験により審査する。
- ② 鳥取大学から推薦された国費外国人留学生候補者を，文部科学省が審査の上，奨学金留学生としての採用を決定し，鳥取大学に通知する。

##### (2) 合格通知

合格通知は，文部科学省の決定に基づき，8月上旬までに本人に通知する。

### VI 注意事項

- 1. 留学生は渡日に先立ち，日本の風土，習慣，気候，大学の状況についてあらかじめ研究しておくことが望ましい。また，日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておくこと。
- 2. 提出書類等の記載事項に虚偽の記入がある場合には入学後でも入学許可を取り消すことがある。

# 教育研究分野一覧

専攻	コース	教育研究分野	教員名	キーワード1	キーワード2	キーワード3	キーワード4	キーワード5
国際乾燥地科学専攻	一般コース・特別コース	水土環境保全学	猪迫 耕二	農地の修復	土壌-植物-大気連続系	灌漑排水	除塩	生物環境物理
		乾燥地環境資源学	遠藤 常嘉	土壌資源	灌漑農業	塩類動態	土壌塩類化	環境修復
		農業造構学	緒方 英彦	水利施設	農道	機能診断	ストックマネジメント	凍害
		分子育種学	辻本 壽	コムギ	ストレス耐性改良	遺伝資源拡大	染色体工学	食糧不足
		保全情報学	恒川 篤史	環境評価・モデリング	リモートセンシング	GIS	地域環境計画	持続可能な土地管理
		気候リスク管理学	坪 充	農業気象	微気象	作物モデル	干ばつ	気候変動対応型農業
		乾燥地作物栽培学	西原 英治	薬用植物	アレロパシー	連作障害回避	LEDによる植物工場	炭化物
		乾燥地灌漑排水学	藤巻 晴行	節水灌漑	ウォーターハーベスティング	リーチング	塩類集積	土壌侵食
		国際農業開発学	安延 久美	地域研究	農業経営学	技術普及	農村開発	共有資源管理
		植物栄養学	山田 智	塩害	養分吸収	作物の品質	アクアポニックス	節水
		乾燥地緑化学	山中 典和	乾燥地緑化	生態系修復	森林生態学	樹木耐塩・耐乾性	植物水分生理
		環境土壌学	山本 定博	環境保全型農業	塩類土壌	土壌診断	土壌有機物	土壌生成・分類
		持続的土地管理学	Nigussie Haregeweyn AYEHU	土壌劣化	持続可能な土地管理	統合的流域管理	空間解析	水文モデル
		植物生理生態学	安 萍	環境ストレス応答	環境ストレス耐性機構	乾燥地農業	塩性土壌	塩生植物
		乾燥地保健医学	大谷 眞二	国際保健	環境医学	渡航医学	感染症	非感染性疾患
		乾燥地緑化保全学	衣笠 利彦	乾燥・半乾燥草原	地球環境変化	人為的攪乱	二次遷移	植物の物質生産
		乾燥地応用気象学	木村 玲二	接地境界層気象	水文気象	リモートセンシング	乾燥度モニタリング	ダスト
		乾燥地気候学	黒崎 泰典	気候学・気象学	ダスト(黄砂)	風食	気候変動	砂漠化
		地圏環境保全学	齊藤 忠臣	土壌中の水・溶質の移動	水・土・植物の関わり	土壌侵食	環境計測技術	UAV(ドローン)
		水利用学	清水 克之	農業水利	農地水文	灌漑システム評価	塩類集積	マイクロ水力発電
		自然エネルギー工学	田川 公太郎	太陽・風力エネルギー	エネルギー生成・変換	エネルギーシステム評価	淡水化技術	伝熱・物質移動
		乾燥地微生物学	谷口 武士	微生物生態学	生態系修復	根圏微生物利用	メタゲノム	菌根菌
		施設環境材料学	兵頭 正浩	埋設管	耐力評価	環境材料	水環境修復	産業副産物
		地球環境変化生態学	Fei PENG	地球環境変化	土壌劣化	生態系生態学	植物と土壌の相互作用	炭素窒素サイクル
		環境無機毒性学	寶来 佐和子	微量元素	野生生物	ヒト	生態系	リスク評価
		植物細胞遺伝学	石井 孝佳	遺伝資源拡大	遠縁交雑	染色体脱落	ゲノム編集(CRISPR)	新育種技術(NBT)
		国際農業普及学	Asres Elias BAYSA	農業普及論	ジェンダーと開発	農業経済学	農村開発	アフリカ

**APPLICATION GUIDELINES**  
**Master's Program, Department of Dryland Science**  
**Graduate School of Sustainability Science, Tottori University**  
**Special Program in Dryland Agricultural Sciences with Reference to SDGs for 2020**

The Department of Dryland Science of the Graduate School of Sustainability Science, Tottori University (Special Program in Dryland Agricultural Sciences with Reference to SDGs) has created the following application for international students who wish to study dryland agriculture under the Japanese Government (MEXT) Scholarship Program.

**I. PURPOSE OF THE SPECIAL PROGRAM**

The Special Program in Dryland Agricultural Sciences with Reference to SDGs cultivates human resources capable of contributing to the country's development under our educational research system from agriculture and environmental conservation in drylands to the regional developments based on SDGs.

**II. OUTLINE OF THE CURRICULUM**

The students of this program belong to the Special Program in English of the Department of Dryland Science (a two-year Master's program). They must earn at least 30 credit units, complete the Master's thesis and pass the thesis evaluation and the final examination to obtain Master of Agriculture or Master of Science.

All of the lectures as well as research guidance from faculty members are provided in English.

**III. FIELDS OF STUDY AND NUMBER OF STUDENTS TO BE ADMITTED**

1. Fields of Study

Each applicant must select his/her field of study and primary supervisor from the List of Fields of Education and Research.

2. Number of Students to be admitted

MEXT Scholarship students by university recommendation - Three students

**IV. QUALIFICATIONS AND CONDITION**

1. Eligibility

MEXT scholarship applicants who have academic ability equal or superior to that of a Japanese university graduate and who can start their overseas study in Japan.

2. Nationality

Applicants under MEXT Scholarship must have the nationality of a country which has diplomatic relations with the Japanese government.

3. Age

Applicants under the MEXT Scholarship must have been born on or after April 2, 1985.

#### 4. Arrival in Japan

Applicants under MEXT Scholarship must be able to arrive in Japan from October 1 to 7, 2020.

#### 5. Academic Background

Applicants must meet any one of the following criteria.

- (1) Graduated or expected to graduate from a four-year university program on or before the end of September 2020.
- (2) Awarded or expected to be awarded a bachelor's degree by the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education following the School Education Law Article 104 Clause 4 on or before the end of September 2020.
- (3) Have finished or expected to finish 16 years of formal education in a foreign country on or before the end of September 2020.
- (4) Have finished or expected to finish 16 years of formal education of a foreign country on or before the end of September 2020 by completing Correspondence Education courses provided by the country in question while residing in Japan.
- (5) Have finished or expected to complete a program provided by an educational institution which owns degree programs offered in foreign countries (only the program that grants the diploma for 16 years of formal education in the said foreign country) which is also recognized as a formal educational institution in the said country while authorized by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology on or before the end of September 2020.
- (6) Have been awarded or expected to be awarded a degree equivalent to bachelor's by completing program duration of which is more than 3 years (includes the case of finishing 16 years of formal education of a foreign country by completing Correspondence Education courses provided by the country in question while residing in Japan, and the case of obtaining degree specified by when graduating from an educational institution recognized by the foreign country in question) at a university or other form of school in a foreign country (limited to the institutions with their educational quality such as education and research activities recognized by the evaluators approved by the government of the foreign country in question or other relevant authorities, or institutions specifically recognized by its equivalent by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology) on or before the end of September 2020.
- (7) Have finished upper-level course of a specialized training college (limited to the course duration of which is more than 4 years and meets other requirements provided by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), which is specially approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, after the date provided by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology or be expected to finish above mentioned course before the end of September 2020.
- (8) Specially recommended by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Public notice Item 5 by Ministry of Education in 1953)
- (9) Reach or have reached 22 years old on or before the end of September 2020 whose



qualification is recognized to be equivalent or higher than those who graduated from a four year university program by individual qualification evaluation at the Graduate School of Sustainability Science

- (10) Admitted to a graduate school by the School Education Law Article 102 Clause 2, and one's academic performance is recognized to be suitable for the Graduate School of Sustainability Science.

Applicants who are applying under (9) or (10) category must get an application form for qualification evaluation from their prospective primary supervisors to take qualification evaluation before application. The form should be submitted no later than January 27, 2020. The result of evaluation will be announced by January 31, 2020.

#### 6. Health

Applicants have no physical or mental conditions hindering the applicant's study at the university.

#### 7. Language Proficiency

Since the research guidance etc. is conducted in English, applicants must have the English ability.

#### 8. Notes

(1) Those who meet any one of the following conditions are ineligible. If identified ineligible after being selected as a scholarship student, he /she must withdraw from the scholarship.

- 1) Those who are military personnel or military civilian employees at the time of their arrival in Japan.
- 2) Those who cannot arrive in Japan by the date the host university designated.
- 3) Those who are grantees of the Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past and have not had at least three (3) years of research or teaching experience at the time of adopting the new scholarship after the completion of their previous scholarship.

This condition does not apply to former "Japanese-studies" Scholarship students who graduated from their universities after returning to home country, and the students under "Japan-Korea Joint Government Scholarship Program for the Students in Science and Engineering Departments" and "Young Leaders Program".

- 4) Those who concurrently apply for other Japanese Government (MEXT) Scholarship program, such as "Teacher Training Students" etc.
- 5) Those who are already enrolled in a Japanese university, etc. under the "Student" visa, or who are enrolled or plan to be enrolled in a Japanese university, etc. as a privately-financed international student from the time of application to the start of receiving this scholarship.

However, this condition does not apply to privately-financed international students studying in Japan who have completed their studies and will return to their home country before the start of receiving the scholarship.

- 6) Those who plan to receive the Japanese Government (MEXT) or the Japan Student Services Organization (JASSO) or private (including any governmental organization of his/her own country) scholarships.

- 7) Those who are expected to graduate and, cannot satisfy the qualifications and the conditions of academic background by the designated date.
  - 8) Applicants of dual nationality who cannot prove their expatriation of the Japanese nationality at the time of application.
  - 9) Those who wish to conduct fieldwork or participate in an internship outside of Japan at the time of application.
- (2) Applicants who are willing to proceed to the doctoral course of Tottori University are preferred. However, regardless of their will, those who could not finish their master's course with high marks cannot proceed to the doctoral course.

## **V. APPLICATION PROCEDURE**

### **1. Application Period**

Applicants must submit the following documents during the period of February 3 to February 21, 2020. All documents must be sent by registered mail to the prospective primary supervisor.

### **2. Application Documents**

- (1) Application Form for The Special Program in Dryland Agricultural Sciences with Reference to SDGs, 2020 [For MEXT Scholarship Applicants] 【a prescribed form】
- (2) Application Form for JAPANESE GOVERNMENT (MEXT) SCHOLARSHIP  
※Two-side printing 【a prescribed form】
- (3) Field of Study and Research Plan 【a prescribed form】
- (4) CERTIFICATE OF HEALTH completed by the examining physician within six months of the application date
- (5) A Written Pledge 【a prescribed form】
- (6) Certified grade transcript from the last university attended
- (7) Graduation certificate or degree certificate of the last university attended
- (8) A copy of certificate of citizenship such as passport or certificate of family register
- (9) Recommendation letter from the dean of the applicant's university or graduate school addressed to the President of Tottori University
- (10) Personal recommendation letter (A recommendation letter from an applicant's supervisor of his/her under-graduate program)
- (11) Three copies of passport size photographs (4.5 x 3.5 cm), upper body part taken from the right front, without hats/caps within 6 months of the application date with the applicant's name and nationality on the reverse side. (They must be pasted on the designated places on the application forms).
- (12) A letter clearly describing the applicant's academic performance at the last university attended such as being in the top 5% or absolute rank in the class including the total number of students in the class, GPA, etc.
- (13) Thesis for Bachelor degree etc.
  - 1) A copy of thesis for Bachelor degree if an applicant has written a thesis.

- 2) A research progress report if he/she is still at university.
- 3) A reprint of his/her published paper or copy of manuscripts submitted to journals.
- 4) Summary of items 1) and 3).
- (14) Copy(ies) of a record of English proficiency test such as TOEFL iBT, TOEIC L&R/TOEIC S&W, IELTS, GTEC, University of Cambridge ESOL, TEAP, TEAP CBT, The EIKEN Test in Practical English Proficiency.

The applicant planning to submit a score sheet proving his/her English ability other than the above documents must consult with the Academic Affairs Section of Faculty of Agriculture before his/her application.

### 3. Notes

- (1) Applicants must participate in an oral examination using Internet etc. The examination will be conducted during the period of February 3 to February 21, 2020.
- (2) The above documents should either be typewritten or printed neatly in English or Japanese on A4 size sheets of paper.
- (3) Applications will not be accepted unless all documents mentioned above are fully and correctly completed and delivered to Tottori University by February 21, 2020.
- (4) Applicants must select their prospective primary supervisor from the List of Fields of Education and Research. Applications without nominated a professor as primary supervisor will not be accepted.
- (5) Applicants must contact their prospective primary supervisor and secondary supervisors in advance during preparation of application documents.
- (6) Applicant's English proficiency will be evaluated based on the submitted documents.
- (7) The recommendation letter and personal recommendation letter must include the writer's assessment of the applicant's English proficiency within the categories of Excellent, Good, or Poor.
- (8) The submitted documents will not be returned.

### 4. Scholarship Benefits

- (1) The amount of payment is 144,000 yen per month.
- (2) The period of scholarship is from October 2020 until the end of March 2022.
- (3) Traveling Expenses:
  - 1) Transportation to Japan: Each grantee will be supplied in general, according to his/her itinerary and route as designated by MEXT, with an economy-class airplane ticket from the international airport nearest to his/her home address to the New Tokyo (Narita) International Airport or any other international airport that the assigned university usually uses. Expenses such as domestic transportation from his/her home address to the international airport, airport tax, airport usage fees, special taxes on travel, or travel expenses within Japan will NOT be supplied.
  - 2) Transportation from Japan: The grantee who returns to his/her home country within the fixed period after the expiration of his/her scholarship will be supplied, in general, upon application, with an economy-class airplane ticket for the travel from the New Tokyo (Narita) International

Airport (or any other international airport that the assigned university uses as a normal route) to the international airport nearest to his/her home address.

(Note 1) Insurance premiums for travel to/from Japan shall be borne by the grantee.

(Note 2) If a grantee continues to stay in Japan after the scholarship period has ended, he/she will not be paid travel expenses to return home as the temporary return.

(4) School fees including application fee, admission fee and tuition fee will not be charged.

(5) Students of Tottori University are required to be covered by the Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (“Gakkensai”) and the Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with PAS for International Students (“Insurance for International Students”).

[Compensation contents and Insurance premiums]

1) Gakkensai : This is an accident insurance which covers injuries occurred as a result of a sudden accident while insured students are participating in regular or extracurricular activities, being on campus, or commuting to school.

Insurance premiums (2 years): 1,750 yen

Department in charge: Health Science Center (E-mail: hokekan-jimu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

2) Insurance for International Students (Type B) : This insurance covers (1) in case of causing injury to another person or damaging the property of others, (2) compensate for the payment of transportation and accommodation expenses in case family members come to Japan to support the insured if he/she is hospitalized due to injury or illness for more than 3 days. (Unlike "Gakkensai", there is no restriction on time and place)

Insurance premiums (2 years): 3,260 yen

Department in charge: International Affairs Division (E-mail: kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp)

For more details, please contact each department.

(6) Payment of the scholarship will be stopped for the reasons given below. Should any of the following reasons apply, the grantee may be ordered to return a part of, or all of, the scholarship paid up to that time.

1) If any of his/her application documents is found to be falsely stated

2) If he/she is in breach of his/her pledge made to the Minister of MEXT

3) If he/she violates Japan’s laws and regulations and is sentenced to imprisonment of more than one year

4) If he/she is subjected to disciplinary action such as expulsion or removal from register by his/her university (The scholarship payment may be stopped during the period up until punishment is decided by the university)

5) If it becomes definitive that the grantee will not be able to graduate (or complete his/her course) within the standard course term because of his/her poor academic achievement or suspension or leaving school

6) If his/her resident status of “Student” as provided for in Paragraph 1-4 of Appendix to the Immigration Control and Refugee Recognition Act changes to any other status

- 7) If he/she is provided with another scholarship (except for a scholarship designated for research expenses)
- 8) If he/she proceeds to a higher level of education without receiving approval for an extension of the term of the scholarship
- 9) If he/she withdraws from Tottori University or transfers to another university

#### 5. Screening Procedures etc.

##### (1) Applicant Screening

- 1) Applicant screening will be made based on submitted documents.
- 2) Candidates recommended by Tottori University will be evaluated by MEXT. MEXT will notify the result to Tottori University after scholarship recipients are determined.

##### (2) Announcement of Successful Applicants

Based on the determination by MEXT, Tottori University will send the Certificate of Acceptance to each successful applicant by the beginning of August.

## VI. NOTES

1. Upon enrollment, the new students are advised to become well informed about Japanese climate, customs, manners, and other cultural aspects in general before coming to Japan. It is strongly advisable that they study Japanese language. Knowledge of the Japanese language is very helpful in Japan.
2. If identified false statements in the submitted documents, admission shall be canceled even after enrolling in the graduate school.

## List of Fields of Education and Research

Department	Course	Field of Education and Research	Faculty Member	Keyword 1	Keyword 2	Keyword 3	Keyword 4	Keyword 5
Department of Dryland Science	General Program/Special Program in English	Soil and Water Management	Koji INOSAKO	Restoration of farm land	Soil-Plant-Atmospheric continuum system	Irrigation and drainage	Desalinization	Environmental biophysics
		Dryland Environmental Resources	Tsuneyoshi ENDO	Soil resources	Irrigated agriculture	Behavior of salts	Soil salinization	Environmental remediation
		Construction and Management Engineering of Facility in Rural Regions	Hidehiko OGATA	Irrigation and drainage facilities	Farm road	Functional diagnosis	Stock management	Frost damage
		Molecular Breeding	Hisashi TSUJIMOTO	Wheat	Stress tolerance improvement	Germplasm enhancement	Chromosome engineering	Food shortage
		Conservation Informatics	Atsushi TSUNEKAWA	Environmental evaluation and modeling	Remote sensing	GIS	Regional environmental planning	Sustainable Land Management
		Climate Risk Management	Mitsuru TSUBO	Agrometeorology	Micrometeorology	Crop model	Drought	Climate-smart agriculture
		Crop Production in Drylands	Eiji NISHIHARA	Medicinal plants	Allelopathy	Mitigation of replant problem	LED light in plant factory	Biochar
		Irrigation and Drainage in Drylands	Haruyuki FUJIMAKI	Water-saving irrigation	Water harvesting	Leaching	Salinization	Erosion
		Agricultural Development Studies	Kumi YASUNOBU	Area studies	Farm management studies	Technology diffusion	Rural development	Common resource management
		Plant Nutrition	Satoshi YAMADA	Salinity	Mineral absorption	Crop quality	Aquaponics	Water saving
		Revegetation Science in Drylands	Norikazu YAMANAKA	Revegetation in arid areas	Ecosystem restoration	Forest ecology	Drought and salt tolerance of woody plants	Water relations of plants
		Environmental soil science	Sadahiro YAMAMOTO	Conservation oriented agriculture	Salt affected soils	Soil quality assesment	Soil organic matter	Soil formation and classification
		Sustainable Land Management	Nigussie Haregeweyn AYEHU	Land degradation	Sustainable land management	Integrated watershed management	Spatial analysis	Haydrologic modeling
		Plant Eco-Physiology	Ping AN	Environmental stresses	Tolerance Mechanisms	Dry lands agriculture	Saline soils	Halophytes
		Dryland Health and Medicine	Shinji OTANI	Global health	Environmental medicine	Travel medicine	Infectious disease	Noncommunicable diseases
		Dryland Restoration and Conservation Ecology	Toshihiko KINUGASA	Arid and semi-arid grassland	Global environmental change	Human disturbance	Secondary succession	Plant matter production
		Applied Meteorology in Drylands	Reiji KIMURA	Boundary layer meteorology	Hydrometeorology	Remote-sensing	Aridity monitoring	Dust
		Dryland Climatology	Yasunori KUROSAKI	Climatology & meteorology	Aeolian dust	Wind erosion	Climatic variation	Desertification
		Land Environment and Conservation	Tadaomi SAITO	Soil water and solute movement	Interaction among soil, water and vegetation	Soil erosion	Environmental measurement techniques	UAV(Drone)
		Agricultural Water Use and Management	Katsuyuki SHIMIZU	Agricultural water use	Field hydrology	Assessment of water delivery performance	Soil salinization	Micro hydropower
		Renewable Energy Engineering	Kotaro TAGAWA	Solar and wind energy	Energy generation and conversion	Evaluation of energy system	Desalination	Heat and mass transfer
		Microbiology in Drylands	Takeshi TANIGUCHI	Microbial ecology	Ecosystem restoration	Use of rhizosphere microorganisms	Metagenome	Mycorrhizal fungi
		Facilities and Environmental Materials	Masahiro HYODO	Buried pipe	Evaluation of the residual strength	Environmental materials	Restoration of aquatic environment	Industrial by-product
		Global Change Ecology	Fei PENG	Global change	Land Degradation	Ecosystem Ecology	Plant-soil interactions	Carbon-Nitrogen cycling
		Environmental Inorganic Chemical Toxicology	Sawako HORAI	Trace elements	Wildlife	Human	Ecosystem	Risk assessment
		Plant Cytogenetics	Takayoshi ISHII	Germplasm enhancement	Wide hybridization	Chromosome elimination	Genome editing (CRISPR)	New breeding techniques (NBT)
		Agricultural Extension Studies	Asres Elias BAYSA	Agricultural extension studies	Gender and development	Agricultural economics	Rural development	Africa

**APPLICATION**  
for  
**SPECIAL PROGRAM IN DRYLAND AGRICULTURAL SCIENCES WITH REFERENCE TO SDGs, 2020**  
**(TWO-YEAR PRE-DOCTORAL COURSE)**  
**[For MEXT Scholarship Applicants]**

入学願書  
2020年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程持続可能な開発目標に貢献する  
乾燥地農学特別プログラム  
[国費外国人留学生用]

ふ り が な 氏 名 Name (in print) Signature	印		性別 Sex	受験番号 Examinee No. ※
			男 ・ 女 M ・ F	
国 籍 Nationality		生年月日 Date of Birth	年齢 Age ( )	写 真  Photo  4.5cm×3.5cm
現 住 所 Present Address	〒 Tel E-mail address			
合格通知等の連絡先 Mailing Address	〒 Tel E-mail address			
出 身 大 学  Alma Mater	大学 学部 学科		卒業年月 Date of Graduation	
	Course:			
	University:			
	大学大学院 研究科 修士課程 専攻		修了・修了見込年月 Date of Completion or Expected Completion	
Master's Course: University:				
志 望 専 攻 名 Preferred Department		希望する主担当教員氏名 Name of Preferred Primary Supervisor		
志望教育研究分野 Preferred Research Field				

**INSTRUCTIONS (記入上の注意)**

1. The application should be typed if possible, or neatly handwritten in block letters. (明瞭に記入すること。)
  2. Numbers should be in Arabic numerals. (数字は算用数字を用いること。)
  3. Years should be written using the Anno Domini system. (年号はすべて西暦とすること。)
  4. Proper nouns should be written in full and not abbreviated. (固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。)
- \* Personal data entered in this application will only be used for forming related human networks after the student returns home and for sending of information by our university.)
- (本入学願書に記載された個人情報については、帰国後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ本学より各種情報を送信する以外には使用しない。)

## 2020年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生申請書(研究留学生)

2020 APPLICATION FORM FOR JAPANESE GOVERNMENT (MEXT) SCHOLARSHIP  
(RESEARCH STUDENTS)

## 記入上の注意

1. タイプまたは手書きでブロック体で明瞭に記入すること。
2. 数字は算用数字を用いること。
3. 年号はすべて西暦とすること。
4. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。

※本申請書に記載された個人情報については、本奨学金の選考のために使用するほかは、特にEmail アドレス等の連絡先については、採用後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ日本政府より各種情報を送信する以外には使用しない。

## INSTRUCTIONS

1. Type application, if possible, or write neatly by hand in block letters.
2. Use Arabic numerals.
3. Write years in western calendar.
4. Write proper nouns in full without abbreviation.

※ Personal data entered in this application will only be used for scholarship selection purposes, and contact information such as email addresses will only be used to create academic networks after the applicant is selected and by the Japanese government to send out information when needed.

1.氏名 Name	自国語 Native language	Surname (姓)	Given name (名)	Middle name (ミドルネーム)
	アルファベット Alphabet	Surname (姓)	Given name (名)	Middle name (ミドルネーム)

※綴りはパスポートの表記と同一にすること Write your name exactly as it appears in your passport.

2.性別 Gender	<input type="checkbox"/> 男 Male <input type="checkbox"/> 女 Female	3. 結 婚 歴 Marital Status	<input type="checkbox"/> 独身 Single <input type="checkbox"/> 既婚 Married	写真(4.5cm×3.5cm) Photo Paste your photo or digital image taken within 6 months. Write your name and nationality on the back of the photo. 6ヶ月以内に撮影した写真 またはデジタル画像を貼る こと。写真の裏面に名前と 国籍を書くこと。
4.国籍 Nationality				
5.日本国籍 Japanese Nationality	<input type="checkbox"/> 無 NO	<input type="checkbox"/> 有: 離脱予定年月 YES: expatriation date	2 0 年 yy 月 mm	
6.生年月日 Date of Birth	年 yyyy 月 mm 日 dd	年齢 (2020/4/1現在) Age (As of April 1, 2020)	歳 yrs	

※応募者は1985年4月2日以降に出生した者であること。  
Applicants must have been born on or after April 2, 1985.

7.(1)現住所 Current Address	国名 Country
(2) 渡日前住所 Your address before departure for Japan	<input type="checkbox"/> 同上 Same as above.
	<input type="checkbox"/> 下記住所に変更することが確定している The above 'Current Address' will be changed as follows:
	国名 Country

※渡日前の住所が現住所から変更になることが確定している場合は、「(2)渡日前住所」の「下記住所に変更される」に✓を入れ、住所を記入すること。変更がない場合は「同上」に✓を入れること。If the current address will be changed at the time of leaving from your country, please check the box of 'The above 'Current Address' will be changed as follows:' and specify the new address. If the current address will not be changed, check the box of 'Same as above'.

(3)電話番号 Phone number	(4) Email
-------------------------	-----------

※可能な限り、渡日前～日本留学中～帰国後にわたり使い続けることが予想されるEmailアドレスを記入すること。  
You are suggested to write an email address that can be used continuously before, during and after your stay in Japan.

(5) 現住所が日本又は国籍国以外の場合 If you currently reside in Japan or outside your home country	日本にいる場合、現在の在留資格の種類 If residing in Japan, what is your current visa status?		
	採用後は、原則として、国籍国の日本公館で査証申請をし、国籍国発の日本行き航空券が支給されることを理解しているか？ Do you understand that, in principle, after selected for MEXT Scholarship Student, you need to apply for a visa at a Japanese diplomatic office in your home country, and to be issued a plane ticket from your home country to Japan?	<input type="checkbox"/> はい YES	<input type="checkbox"/> いいえ NO
	国籍国への帰国の時期 When will you return to your home country?	2 0 年 yy 月 mm	

※既に我が国の在留資格「永住者」、「定住者」等を有している場合であっても、採用後に「留学」に変更する必要がある。なお、国費外国人留学生の身分終了後に改めて「永住者」又は「定住者」の在留資格を申請しても当然には認定されない可能性があることを理解した上で申請すること。Please be aware that even if the applicant applies for the permanent-resident or long-term resident status of residence after the expiration of the status as a Japanese Government Scholarship student, the possibility exists that the application may not be approved.



8.(1)過去に国費外国人留学生に採用されたことがあるか。 Have you been awarded a Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past?										□いいえ NO		□はい YES					
(2)「はい」の場合は以下にその期間、受入学校名を記入し、該当するプログラムに✓を入れること。 If "YES", please specify the period, the name of the school, and check either box of 'Program'.																	
期間 Period		年 yyyy		月 mm		～		年 yyyy		月 mm		学校名 Name of school					
プログラム Program		□ ①研究留学生 Research Students		□ ②学部留学生 Undergraduate Students		□ ③高等専門学校留学生 College Of Technology Students		□ ④専修学校留学生 Specialized Training College Students									
		□ ⑤日本語・日本文化 研修留学生 Japanese Studies Students		□ ⑥教員研修留学生 Teacher Training Students		□ ⑦日韓共同理工系学部留学生 Japan- Korea Joint Government Scholarship Program For The Students In Science And Engineering Departments		□ ⑧ヤング・リーダーズ・ プログラム留学生 Young Leaders Program									
※過去に受給した奨学金が文部科学省奨学金に該当するか否か不明の場合は事前に希望大学担当者に相談すること。If you are unsure whether previously awarded financial aid corresponds to a MEXT scholarship or not, please consult in advance with staffs at University in Japan you wish to attend.																	
(3)上記にて①、②、③、④又は⑥のプログラムを選択した者は、前回の受給終了から本奨学金支給開始時まで3年以上の教育研究の経歴があるか。またその際の所属機関名、教育研究の内容、期間を記入すること。If you marked ①, ②, ③, ④ or ⑥ program above, have you have educational research experience exceeding more than three years from the first day of the month following the final payment of the previous scholarship to the beginning of the payment of this scholarship? If "YES", please specify the name of institution, the content, and the period.										□はい YES		□いいえ NO					
①	機関名 Name of institution								内容 Content								
	期間 Duration		From	年 yyyy		月 mm		～		To	年 yyyy		月 mm		年 yrs		か月 mons
②	機関名 Name of institution								内容 Content								
	期間 Duration		From	年 yyyy		月 mm		～		To	年 yyyy		月 mm		年 yrs		か月 mons
③	機関名 Name of institution								内容 Content								
	期間 Duration		From	年 yyyy		月 mm		～		To	年 yyyy		月 mm		年 yrs		か月 mons
通算教育研究期間(本奨学金支給開始時点) Total period of experience of education/research (As of the beginning of the payment of this scholarship) ※①～③の合計は3年以上であること。*The sum of ① to ③ must be over 3 years.										年 yrs		か月 mons					
9. 日本政府(文部科学省)奨学金制度による他の2020年度奨学金支給開始のプログラムに併願しているか。それらの日本政府(文部科学省)奨学金との併願は認められない。 Are you applying for any other Japanese Government (MEXT) scholarships for which scholarship payments will begin in fiscal 2020? It is not allowed to apply for other Japanese government (MEXT) Scholarships at the same time.										□いいえ NO		□はい YES					
10.(1) 本制度による奨学金と重複し、日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関を含む)から奨学金等を受給、または受給予定であるか。 Are you receiving or scheduled to be receiving any scholarship from any organization other than the Japanese Government (MEXT) (including an organization of your home country government) together with the MEXT Scholarship?										□いいえ NO		□はい YES					
※「はい」の場合、本奨学金と他の奨学金の併給は認められないため、本制度に採用後は他の奨学金の受給を停止しなければならないことを理解しているか。 If 'YES', do you understand you must cancel other scholarships after selected for MEXT Scholarship Student since it is not allowed to receive other scholarships together with the MEXT Scholarship?										□はい YES		□いいえ NO					
(2) 他の奨学金に応募又は他の奨学金を受給している場合は、その名前、期間、金額等を記すこと。 If you are receiving or applying for other scholarships, please specify the name of the sponsor, scholarship period, scholarship amount, etc.																	
奨学金の内容 Describe the scholarship																	

11. 学歴 Academic record																	
INSTRUCTIONS																	
1. 幼稚園・保育所教育は含まれない。1. Exclude kindergarten education and nursery school education.																	
2. 「大学予備教育」は後期中等教育に含まれる。2. Preparatory education for university admission is included in upper secondary education.																	
3. 「大学入学資格試験」に合格している場合には、その旨「特記事項」欄に記入すること。3. If the applicant has passed the university entrance qualification, indicate this in the Remarks column.																	
4. 「飛び級」をしている場合には、その旨を「特記事項」欄に記入すること。(例) 高校3年次を飛び級により短期卒業) 4. Any school years or levels skipped should be indicated in the Remarks column. Example: Skipped senior year for the early graduation.																	
5. 住居の移転や大学の再入学等を理由に、同教育課程で複数の学校に在籍していた場合は、同じ欄に複数の学校の在籍を記載し、すべての修学状況を修学年数に含めること。5. If you attended multiple schools at the same level of education due to moving house or readmission to university, then write the schools in the same column and include the number of years of study and current status for each school.																	
6. 修学年数合計は在籍期間を算出し、記入すること。(長期休暇も含める) 6. Calculate and write the total number of years studied based on the duration as a student. (including extended leaves such as summer vacation)																	
7. 下記に書ききれない場合は、別紙に記入することも可能。しかしその場合は、別紙に記入する旨を明記すること。7. You may use a separate piece of paper if the space below is insufficient. In such a case, please stipulate that the information is on a separate page.																	
初等教育 (小学校)  Primary Education (Elementary School)	学校名 Name																
	所在地 Location	州・省State/Province						市・町 City/Town									
	入学 From		年 yyyy		月 mm	~	卒業 To		年 yyyy		月 mm	修学年数 Duration		年 yrs		か月 mons	
	特記事項 Remarks																
前期中等教育 (中学校)  Lower Secondary Education (Middle School/Junior High School)	学校名 Name																
	所在地 Location	州・省State/Province						市・町 City/Town									
	入学 From		年 yyyy		月 mm	~	卒業 To		年 yyyy		月 mm	修学年数 Duration		年 yrs		か月 mons	
	特記事項 Remarks																
後期中等教育 (高校)  Upper Secondary Education (Senior) High School)	学校名 Name																
	所在地 Location	州・省State/Province						市・町 City/Town									
	入学 From		年 yyyy		月 mm	~	卒業 To		年 yyyy		月 mm	修学年数 Duration		年 yrs		か月 mons	
	特記事項 Remarks																
高等教育 (大学学部)  Tertiary(Higher) Education (Undergraduate)	学校名 Name																
	所在地 Location	州・省State/Province						市・町 City/Town									
	入学 From		年 yyyy		月 mm	~	卒業 To		年 yyyy		月 mm	修学年数 Duration		年 yrs		か月 mons	
	学位 Degree						特記事項 Remarks										
高等教育 (大学院)  Tertiary(Higher) Education (Graduate)	学校名 Name																
	所在地 Location	州・省State/Province						市・町 City/Town									
	入学 From		年 yyyy		月 mm	~	卒業 To		年 yyyy		月 mm	修学年数 Duration		年 yrs		か月 mons	
	学位 Degree						特記事項 Remarks										
高等教育 (大学院)  Tertiary(Higher) Education (Graduate)	学校名 Name																
	所在地 Location	州・省State/Province						市・町 City/Town									
	入学 From		年 yyyy		月 mm	~	卒業 To		年 yyyy		月 mm	修学年数 Duration		年 yrs		か月 mons	
	学位 Degree						特記事項 Remarks										
修学年数合計(2020年4月1日現在) Total Years of Education (As of April 1, 2020)													修学年数 Duration		年 yrs		か月 mons

12.過去に専攻した専門分野(できるだけ具体的に詳細に書くこと。) Field of specialization studied in the past (Be as detailed and specific as possible.)			
13.過去に論文を執筆したことがあるか Have you ever written a thesis?		<input type="checkbox"/> ある YES <input type="checkbox"/> ない NO	
14.著書、論文(卒業論文を含む。)があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所を記入すること。 State the titles or subjects of books and papers (including graduation thesis) authored by applicant, if any, with the name, address of publisher and the date of publication.			
15.日本における最初の入学希望課程 The first course you plan to take in Japan	<input type="checkbox"/> 非正規生 Non-regular (Non-degree) course		
	<input type="checkbox"/> 修士課程 Master's degree course		
	<input type="checkbox"/> 博士課程 Doctoral course		
	<input type="checkbox"/> 専門職学位課程 Professional graduate course		
16.日本における最終的な希望留学期間 Term you wish to study in Japan	<input type="checkbox"/> 非正規生のみ Only a non-degree student term		
	<input type="checkbox"/> 修士課程修了まで Up to the completion of master's degree program		
	<input type="checkbox"/> 博士課程修了まで Up to the completion of doctoral program		
	<input type="checkbox"/> 専門職学位課程修了まで Up to the completion of the professional graduate program		
17.現職の有無 Do you currently have a job?	<input type="checkbox"/> いいえ NO	<input type="checkbox"/> はい → YES	勤務先名 employer's name
18.職歴(直近2つまで記入すること。アルバイトは除く。) Employment record: Write the 2 most recent employment and exclude part-time work.			
勤務先及び所在地 Name and location of organization	勤務期間 Period of employment	役職名 Position	職務内容 Type of work
	From  To		
	From  To		

19. 語学力 Language ability	読む能力 Reading	書く能力 Writing	話す能力 Speaking	聴く能力 Listening
日本語 Japanese				
英語 English				
その他 Others ( )				
※3から0で評価すること Rate on a scale of 3 to 0.				
3 = 優 Excellent      2 = 良 Good      1 = 可 Fair      0 = 不可 Poor				
20. 日本語能力(資格) Japanese language qualifications	日本語能力試験 JLPT	レベル level	総合得点 Total Score	その他 Other
21. 英語能力(資格) English language qualifications	TOEFL	IELTS		その他 Other
22. 同伴家族欄(渡日する同伴予定の家族がいる場合に記入すること。) Accompanying Dependents (Provide the following information if you plan to bring any family members to Japan.)				
※なお、同伴者に必要な経費はすべて採用者の負担であるが、家族用の宿舎を見つけることは相当困難であり賃貸料も非常に割高になるのであらかじめ承知しておくこと。このため、採用者はまず単身で来日し、適当な宿舎を見つけた後、家族を呼び寄せること。 All expenses incurred by the presence of dependents must be borne by the grantee. He/She is advised to take into consideration the various difficulties and great expense that will be involved in finding living quarters for them. Therefore, those who want to accompany their families are well advised to come alone first and let them come after suitable accommodation has been found.				
氏名 Name	続柄 Relationship	年齢 Age	国籍 Nationality	
23. 緊急の際の母国の連絡先    Person to be notified in applicant's home country in case of emergency.				
氏名 Name				続柄 Relationship
現住所 Current address				職業 Occupation
電話番号/FAX番号 Phone / Facsimile number			Email	
24. 日本への渡航及び滞在歴    Past visits or stays in Japan    List from your most recent visits.				
期間 Period				渡航目的 Purpose
From	年 y	月 m	～ To	年 y 月 m
From	年 y	月 m	～ To	年 y 月 m
私は2020年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生募集要項に記載されている事項をすべて了解し、上記の通り申請資格を満たしていることを確認の上、申請します。 I understand and accept all the matters stated in the Application Guidelines for Japanese Government (MEXT) Scholarship for FY2018 and upon confirmation of my qualifications for application as stated above, I hereby apply for this scholarship.				
申請者署名 Applicant's signature			申請年月日 Date of application	20 年 / 月 / 日 year / month / day

(別紙様式8)

専攻分野及び研究計画  
Field of Study and Research Plan

Name in full,  
in your native language

(姓名(自国語))  
\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_  
(Surname) (Given name) (Middle name)

Name in Roman capital letters

(姓名(ローマ字))  
\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_  
(Surname) (Given name) (Middle name)

Nationality

(国 籍)  
\_\_\_\_\_

Proposed study program in Japan (Outline your field of study on this side and the specific of your study program on the reverse side of this sheet. This section is one of the most important references for selection. The statement must be typewritten or written in block letters. Additional sheets of paper may be attached if necessary. If plagiarism or fraud is discovered after selection, the selection will be cancelled retroactively.)

日本での研究計画;この研究計画は、選考の重要な参考となるので、表面に専攻分野の概要を、裏面に研究計画の詳細を具体的に記入すること。記入はタイプ又は楷書によるものとし、必要な場合は別紙を追加してもよい。なお、採用後に不正、盗用等が判明した場合は遡って採用を取り消す。

If you have Japanese language ability, write in Japanese.  
(相当の日本語能力を有する者は、日本語により記入すること。)

1 Present Field of study(現在の専攻分野)

2 Your research topic in Japan: Describe articulately the research you wish to carry out in Japan.

(渡日後の研究テーマ:日本においてどういった研究がしたいかを明確に記入すること)

3 Study program in Japan: (Describe in detail and with specifics – particularly concerning the ultimate goal(s) of your research in Japan)  
(研究計画: 詳細かつ具体的に記入し、特に研究の最終目標について具体的に記入すること。)

# 健康診断書

## CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。  
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名 Name : \_\_\_\_\_  
Family name, First name Middle name

☐男 Male ☐女 Female 生年月日 Date of Birth : \_\_\_\_\_ 年齢 Age : \_\_\_\_\_

### 1. 身体検査 Physical Examinations

- (1) 身長 Height \_\_\_\_\_ cm 体重 Weight \_\_\_\_\_ kg
- (2) 血圧 Blood pressure \_\_\_\_\_ mmHg ~ \_\_\_\_\_ mmHg 血液型 Blood Type 

A	B	O	+
			RH
			-

 脈拍 Pulse ☐整 regular ☐不整 irregular
- (3) 視力 Eyesight : (R) \_\_\_\_\_ (L) \_\_\_\_\_  
裸眼 without glasses 矯正 with glasses or contact lenses
- (4) 聴力 Hearing : ☐正常 normal ☐低下 impaired 言語 speech : ☐正常 normal ☐異常 impaired

2. 申請者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること（6ヶ月以上前の検査は無効。）  
Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest X-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 lung : ☐正常 normal ☐異常 impaired  
Date \_\_\_\_\_  
Film No. \_\_\_\_\_

Describe the condition of applicant's lung.

心臓 Cardiomegaly : ☐正常 normal ☐異常 impaired  
↓  
異常がある場合  
心電図 Electrocardiograph : ☐正常 normal ☐異常 impaired

3. 現在治療中の病気 Disease Treated at Present ☐Yes (Disease: \_\_\_\_\_) ☐No

4. 既往症 Past history : Please indicate with + or - and fill in the date of recovery

Tuberculosis. .... ☐ ( . . . ) Malaria. .... ☐ ( . . . ) Other communicable disease. .... ☐ ( . . . )  
Epilepsy. .... ☐ ( . . . ) Kidney Disease. .... ☐ ( . . . ) Heart Diseases. .... ☐ ( . . . )  
Diabetes. .... ☐ ( . . . ) Drug Allergy. .... ☐ ( . . . ) Psychosis. .... ☐ ( . . . )  
Functional Disorder in extremities. .... ☐ ( . . . )

5. 検査 Laboratory tests  
検尿 Urinalysis: glucose ( ), protein ( ), occult blood ( )

赤沈 ESR : \_\_\_\_\_ mm/Hr, WBC count : \_\_\_\_\_ /mm<sup>3</sup> 貧血 anemia ☐  
Hemoglobin: \_\_\_\_\_ mg/dl, GPT: \_\_\_\_\_

6. 診断医の印象を述べて下さい。  
Please describe your impression.

7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？  
In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan ?

yes ☐ no ☐

日付 Date: \_\_\_\_\_ 署名 Signature: \_\_\_\_\_

医師氏名 Physician's Name in Print: \_\_\_\_\_

検査施設名 Office/Institution: \_\_\_\_\_  
所在地 Address: \_\_\_\_\_

# 誓 約 書

## A written pledge

私はこの申請(鳥取大学による大学推薦)の他に、以下の奨学金を重複して申請していないことを誓約します。

I swear not to apply for the following scholarships besides the application to Tottori University.

1. 他大学との重複申請(大学推薦による国費外国人留学生奨学金制度)

Repeated application with another university  
(International students of National Scholarship System by “Nominated by a university”)

2. 大使館推薦(国費外国人留学生奨学金制度)

International students of National Scholarship System by “Nominated by an Embassy”

3. 独立行政法人日本学生支援機構による、留学生交流支援制度

Short-term Student Exchange Promotion Program by Japan Student Services Organization (JASSO)

4. 他の奨学金等

Other Scholarship program, etc.

誓約日                      年              月              日

Date of pledge      Year              Month              Day

申請者氏名

Applicant's Name

申請者署名

Applicant's Signature

私は、受入予定教員として上記の誓約書の内容を確認した。

I confirmed the above-mentioned contents as a guidance professor in Japan.

確認日                      年              月              日

Date of confirmation      Year              Month              Day

受入予定教員氏名

印

Guidance professor's Name

Seal